

- ・会 場 会津若松市文化福祉センター
- ・参 加 者 公共図書館・公民館・社会教育関係職員、図書館協議会・公民館運営審議会委員、図書館利用者、各種文庫関係者、読書グループの会員 300名
- ・講 演 本を読む武将
作家 早乙女 貢
- ・事例発表 <図書館の部>
ステップ トショカンヲ メザシテ
相馬市図書館奉仕係長 天野吉典
<公民館図書室の部>
図書活動をとおして感じること
長沼町公民館あすなろ図書室
市川一秋
- ・ <利用者の部>
地域社会における児童文化活動
会津若松市ありんこ文庫代表 高橋京子
- ・分科会 <図書館の部>
司会者 白河市立図書館長 星洋子
- 助言者 福島県立図書館調査課長 菅野孝吉
<公民館図書室の部>
- 司会者 新鶴村教育委員会社会教育主事 坂内洋二
- 助言者 県教育庁社会教育課主任社会教育主事 白岩信博
<利用者の部>
- 司会者 会津若松市アカシア文庫代表 賀川玲子
- 助言者 会津教育事務所社会教育主事 小林孝岳
- ・全体会 議長 郡山市中央図書館長 佐藤晃二
- (2) 読書活動指導者養成講座
 - ・テーマ 図書館活動における高齢者対策について
 - ・期日 平成3年11月29日
 - ・会場 福島県立図書館
 - ・参加者 公共図書館・公民館職員、社会教育関係者
高齢者団体の代表者 64名
 - ・講師 東京都福祉局児童部瀬学園長 後藤久夫

6 広報資料の発行

- (1) 館報「あづま」
第42巻第1号～第2号(通館232～233号)を発行し、市町村教育委員会、図書館、公民館等に配付した。
発行部数 1,500部
- (2) 平成3年版福島県公共図書館・公民館図書室実態調査
県内公共図書館・公民館図書室の実態を把握し、図書館活動の振興に資するため、昭和54年度から毎年実施し、報告書にまとめ、県内市町村教育委員会、図書館、公民館等

に配付した。

発行部数 250部

平成3年4月1日現在の調査結果の主要な点をあげると、市町村図書館と公民館図書室を合わせた蔵書冊数は、2,777,821冊で、県民1人当たり1.32冊(前年度1.25冊)年間増加蔵書冊数は、223,970冊である。

また、平成2年度中の貸出図書冊数は、3,454,331冊(県民1人当たり1.64冊)であり、前年度と比べると総冊数では19,314冊増である。

(3) 福島県郷土資料情報

新着郷土資料の情報として、第16～18号を発行し、県内図書館、公民館等に配付した。

発行部数 300部

第5節 図書館協力

1 相互貸借

ますます多様化・高度化する利用者の図書館要求に対応するため、県内・外の同種・異種の図書館間および類縁他機関との相互協力ネットワークの形成が着々伸展しつつある。

従来からの公共図書館間協力に加え、平成元年度に発足した「福島県内大学図書館間相互協力」制度も本年度はいよいよ軌道にのり、今後はその内容の充実が期待されている。

一方、「図書館のための図書館」としての使命をもつ県立図書館は、県内公共図書館のセンター的役割を着実に果しつつ、その中核的機能である市町村図書館への資料提供に努めた。その結果件数、冊数共に前年度比で各々13.3%、16.3%の伸びを示した。

[表10] 相互貸借件数

区分		県内	県外	計
貸出	件数	445	23	468
	冊数	1,393	46	1,439
借用	件数	5	29	34
	冊数	9	39	48
計	件数	450	52	502
	冊数	1,402	85	1,487

2 図書館職員研修会

図書館職員の資質向上と専門的知識の涵養を図るため、毎年行っている。

- ・テーマ 公共図書館における図書館協力のあり方
- ・期日 平成3年9月26日
- ・会場 福島県立図書館
- ・参加者 図書館・公民館・関係機関職員 27名
- ・講師 図書館情報大学助教授 薩袋秀樹

3 図書館協力事業連絡会議

全県的な図書館のサービス網の充実を図ることを目的とし